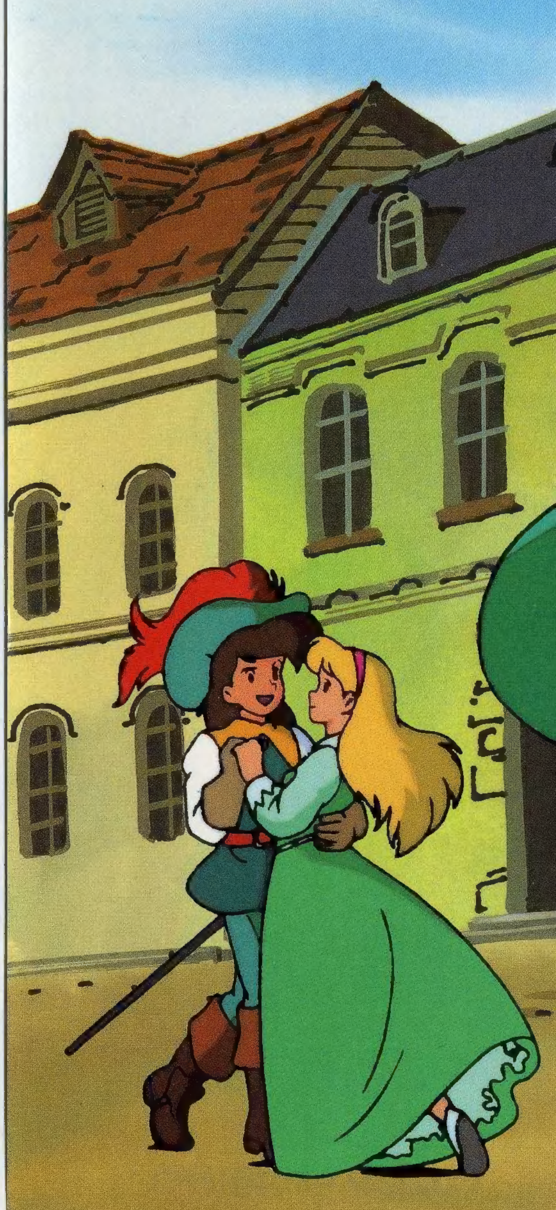

アニメディア
アニメコミックス
アニメ三銃士
1
オールカラー
①象のいるパリ
②ロンドンからの手紙
③パリの三銃士

カバーイラスト／スタジオぎゃろっぷ
カバーデザイン／Do Plan



アニメディア
アニメコミックス

アニメ三銃士 1

オールカラー



アニメ三銃士

1

アニメディア　アニメコミックス



おもな登場人物たち

ダルタニャン



「象が見たい!!」と、ふるさとガスコーニュを飛び出し、花の都へやってきた、このお話の主人公。ふとしたことから、フランス王朝内の争いにまきこまれるが、持ち前の元気と明るさで、次々と苦難をのりこえる。

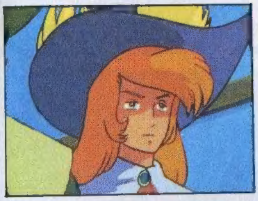


▲愛馬ロシナンテ

三銃士



◀アトス



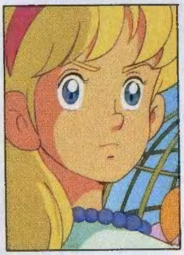
◀アラミス



◀ポルトス、

つわものが集まる国王の銃士隊の中でも、この三銃士とよばれる三人は最強を誇る。ダルタニャンとは決闘をきっかけに、友情がめばえる。

コンスタンス



アンヌ王妃の侍女。リシュリューの陰謀から、王妃を守るために、けなげにがんばるが、素顔は16歳の少女。その美しさにダルタニャンは夢中。

はだしのジャン



父を亡くし、戦争で生き別れになった母をさがすために、たった一人で、パリに暮らす少年。ダルタニャンの頼もしいパートナー。

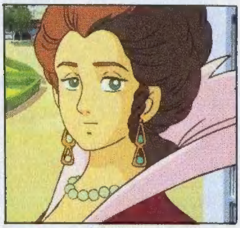
トレビル隊長



国王の銃士隊の隊長。亡きダルタニャンの父とは銃士仲間だった。

ルイ13世&アンヌ王妃


▲ルイ13世


▲アンヌ王妃

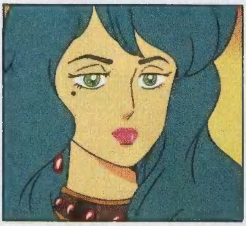
フランス国王夫妻。気弱で、リシュリューに頭の上がらないルイ13世を、アンヌ王妃は強い愛情で内側から支えている。

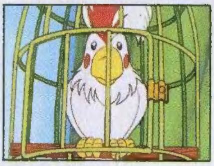
リシュリュー



フランスの総理大臣。国王が握っている実権を、わがものにしようとたくらむ。そのためにじゃまなアンヌ王妃を、さまざまな陰謀でおとしいれようとし、銃士隊やダルタニャンたちと対立する。

ミレディー




◀オウムのコピー

リシュリューのもとで、その陰謀に手をかす、謎めいた美女。サルやオウムなど、動物を自在にあやつる。はじめダルタニャンを味方にしようとする。

ローシュフォール



リシュリューの部下の伯爵。敵方の三銃士に勝るとも劣らない実力の持ち主。貴族としてのプライドも高い。

●もくじ●

●この本は、テレビアニメ『アニメ三銃士』を再構成したものです。

Opening Film Digest

〈オープニング・フィルムダイジェスト〉

◆17世紀のはじめ、フランスの都パリを舞台に、元気ハツラツ少年、ダルタニャンの、夢と冒険がいっぱいの物語がはじまるぞっ!!



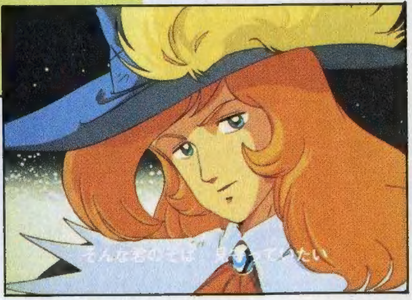


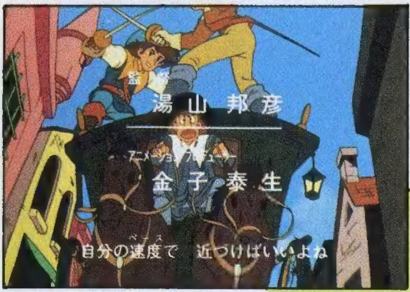


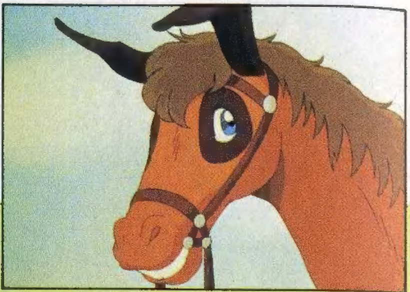






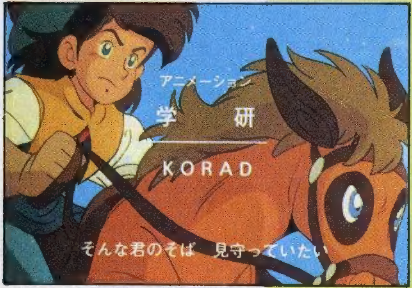


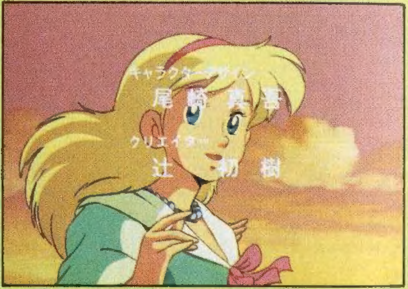

監督
湯山邦彦
アニメーションプロデューサー
金子泰生
自分の速度(ペース)で 近づけばいいよね



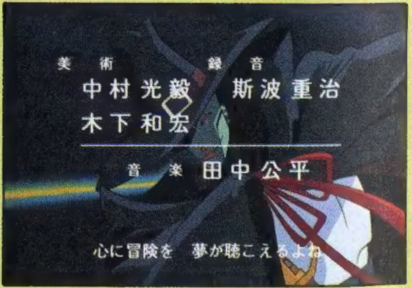

テーマソング
オープニング
「夢冒険」
歌 井法子
作詞 森浩美
作曲 西木栄二
編曲 中村暢之
エンディング
歌 Pumpkin
作詞 尾関昌也
作曲 三浦一年
編曲 川上了
心に冒険を 夢を抱きしめたくて


翻案
モンキー・パンチ
脚本
ジャック・プロダクション
田波靖男
微笑むそのたび 夢だけを


アニメーション
学研
KORAD
そんな君のそば 見守っていたい


キャラクターデザイン
尾崎真吾
クリエイター
辻初樹


企画・制作 NHK
共同制作 NHKエンタープライズ
そんな君のそば 見守っていたい


美術
中村光毅
木下和宏
録音
斯波重治
音楽 田中公平
心に冒険を 夢が聴こえるよね


第1話
象のいるパリ
楯に輝く百合の花……
これは昔のフランス王の紋章です
この物語は17世紀前半ブルボン王家のルイ13世の時代を舞台にはじまります。
ここはワインの産地として有名な
ボルドーの南ガスコーニュ……


若様負けるな!
ダルタニャンなんかやっちまえ!
ぐぎぎ…
むぐぐ……


この〜〜〜っ！
よっと
うぬぬ……
ふぬっ
おっとっとっとっとっ……
ぐぬぬぬ……


若様……!!
ぎりぎり……
むおおお……
おおーっ!!


あら よっとォ!
ジョルジュ こんなもの ひきょうだぞ!
うるさい
そりゃーっ


うわっととと……
それそれそれ……
くそっ!
ふぬっ!
あららら……
ンモ〜〜〜ッ!!


ワァアッ
ひえーっ助けてくれーっ!!
へへへ……
若様ーっ！
パパにいいつけてやる！ダルタニャンめ ぜーったいにいいつけてやるからな！
へへへ……ヨワムシ


いやァ 殿の若様に
ケガをさせるとは……
まことに
申しわけない
殿様も
えらくご立腹だ
このままでは
ただでは
すみませんぞ
わかり申した
殿様にも
このジイめが
恐縮していたと
よろしく
お伝えください
それより
本人が
おしおきを
覚悟のうえで
あやまりに
くるのが先だ


イ〜〜ッ！
ベロベロバ〜〜イ〜〜ッ
おしりペンペンペンとくらあ！


あだっ!
だだだ……
イテテ……
乱暴だな
ジイちゃんは
乱暴なのは
おまえじゃないか
弱い者いじめを
してはならんと
いつも
いっとろうが!
ジョルジュは
弱くないよ
殿様の息子だし
身体もでかいし
仲間だって
なん人も
いるんだ!
そんな相手と
ケンカして
なんの
得がある?
だって
やつはオレの
こと うそつき
だというんだ
なに!?
あいつ自分
のとこの牛が
フランス一
でっかい動物
だっていうんだ


しかし殿様の牛はたしかに大きいあれならフランス一かもしれん
でもこのごろパリに連れてこられたっていう象にはかなわないだろう？
象か……
ジイちゃんだっていってたじゃないか世界で一番大きい陸の動物は象だって
だからパリの象はもっとでっかいっていったらうそだって
ああ
今は貧乏してるけど死んだ父さんはりっぱな人だったんだろ？
もちろんだとも


だからオレ
ダルタニャン家の名誉のために
戦ったんだよ
よくやった!
それでこそ　わしの孫だ
象なんて見たこともないくせにこの子にのせられて
おじいさん
だめですよ
バアさん……


殿様のとこへ あやまりに いかせなきゃ
また どんな しかえし されるか……
オレいやだ あやまりになんか いきたくねえ
殿様のお怒りが とけなかったら おまえを裁判に かけることだって できるんだよ
裁判……!!
ぼうず…… ここは ぐっと がまんして 明日の朝一番に あやまりに いくんだ ……いいな



ジイちゃん
オレはうそなんかついてない!
絶対に象の方が牛よりでっかいはずだ
……でもオレだって本物の象は見てないからなァ


どんな動物なんだろう
とにかく大きいことは確かなんだ……
長い鼻をしているそうだが……
なんか変だなア……
そうだ!パリへいって象を連れてきてやる!
そうすればジョルジュだってオレが正しいってわかるだろう


ブヒヒヒン……
シ——ッ……
ロシナンテ……
ジイちゃんバアちゃんをたのんだぜ……
オレはどうしてもあやまる気になれないんだ
ハッ!!


どこへいくつもりだぼうず 自分がしでかしたことが怖くなって夜逃げしようとするなんてひきょうだぞ
ジイちゃん……
逃げるんじゃない オレはパリへいくんだ
なにっ!!
もうこんな田舎にはいたくねえ
……そうかよくいった!
わしも10年若かったら……
よし!


ガタッ
パリへゆくなら
これを持って
ゆけ
これは?
おまえの死んだ
父さんの剣だ



父さんも戦争の傷がもとで死ななかったら今頃はトレビル殿のように銃士隊の隊長くらいにはなっていたろう
トレビル？
このガスコーニュ出身の出世頭でな 死んだ父さんの銃士仲間だったんじゃ
パリへ着いたら一度訪ねてみたらよかろう
うん
パリへ出てだれかに仕えるとしても
トレビル隊長かリシュリュー様のほかは相手にするな よいな
わかった
それからこのロシナンテを連れていくがよい
この馬もこんな田舎で埋もれさせておくのはかわいそうだ
ジイちゃん……


男同士で
なにもかも
勝手に決めないで
ほしいねえ
バアちゃん………
これを持って
おゆき
わたしが
薬草を練って
つくった傷薬と
へそくりのお金
そして
この帽子はね……
こんな時のために
バアちゃんが
用意しといたんだよ


ええっ
ホントはへそくりと一緒にずっと隠しておきたかったんだけどね……
あ　ありがとう……
達者でな
おまえのことは毎日　神様にお祈りしているからね
ジイちゃんもバアちゃんも元気でいてね


ああ……ぐずぐずしていると　夜が明けてしまう早くゆけ
うん
それっ!!


こうして
ダルタニャンは
たった一人で
象のいるパリへと
旅立つことに
なったのでした
ガッ
ガッ


この頃のパリの町は城壁に囲まれ今のパリの13分の1という広さしかありませんでした
しかも17世紀に入ってすぐパリの人口は20万人から40万人と2倍にふくれ上がりセーヌ河をはさんだこのせまい都は人であふれかえっていました
さあさあよってらっしゃい見てらっしゃい！
パリにしかないはだしのジャンの手作り人形だよ見るのはただだよ気がむいたら買っとくれ
あ……あっ！
わたしの顔になんかついているの？
戦争ではぐれちまった母ちゃんにちょっと似てたんだよ


お母さんいくつ？
23かな
失礼ね！わたしはまだ16よ
そうだね 母ちゃんはそんなに怒りっぽくないもん もっとやさしかったもん
あなたには負けたわ じゃ その人形いただくわ
だったらどれか買ってくれるかい？
わたしだってやさしいわよ
象は どこにいるんだろうなァ


オット……
ごめんよ
ぼうや
象はどこにいるか
知らない？
ありがとう
今日は
むこうの
広場じゃ
ないかな
いえいえ
こちらこそ
象だ！　象だ！
象の芸が
はじまるぞ！
象だ
象だぞう
見にいこう



チェッ またかよ 象のやつ いつも 商売のじゃま しやがって……
アー やめた やめた!
象には 勝てねえ 帰って 寝た方が いいや
おかしいなァ…… 広場って どこなんだよ……
モ〜〜〜ォ
おまえじゃ ないの! 象だよ象!! まったくもう!!


ワァァ
ワァァ
ワァァ
ちょっとごめんよ
ようし今に見てろ
あ なんだおまえは?
うわっ!
へっくしょん! へーくしょん!


やったァ！
うわっ！


うへーっ
すっごい
パワー!
迷路だよな
これじゃ……
いや たいへん
だったぜ
広場で象が
あばれ出して
今日は商売
どころじゃなく
なっちまったよ
それっ!


おじさん
広場はこっちの方かい？
ああ まっすぐいって右だ
どうも
ああっ！
きゃっ!!
パキッ


ごめんごめん
ケガはなかった?
大ありよ!
手が折れちゃった
じゃない
ええっ!!
ホラ
見てよ
ハハハ……
なんだ人形の
手かァ……
おどかすなよ


まァ さっき買ったばかりなのよ
あ……ごめん……
フンッ!
ブヒヒヒ ヒーン
ねえ君! その人形きっと返すからまた会おうね!
ベーッだ!!
ムフフフ……パリの女の子って刺激的!




オイ 象はここにいるんじゃないのか?
もう いないよ
おいらがおっ払っちゃったんだよ
なんだってえ!!
オレは象を見にはるばる……
怒んないでよ
反省してるんだから 象と一緒に客までおっ払っちゃって……
見てよおいらの今日のかせぎ これっぽっち……
そんなことより象はどこにいったんだ?
さァ…… でも パリにいることは確かだよ
ああー もう……


……
……
あっ！
どろぼうだっ！
捕まえよう乗るんだ！
うん！



オレはダルタニャンだ
おまえは？
ジャン
みんなははだしのジャンて呼んでるよ
右だ！
右が近道なんだ
カッカッ


カッカッ
ね 早かったろ
早すぎてもしようがないよ
しかしよく道を知っているな
パリのことならなんでも聞いとくれ!


タタタッ
キキキッ……………


おーい
おりてこい
呼んだって
無理じゃない
ようし
なら
こっちから
いくぞ
なにを
やっているの
ぼうやたち？
あのサルが
金を盗んで
逃げたんだ
おいらの
金だよ
パリには
サルの泥棒まで
いるとは
思わなかったな


ただの
いたずらよ
待っていなさい
さ　いい子
だから……


あなたの
お金って
これかしら
……
このサル
わたしが
もらっても
いいかしら
どうぞ……
いいなジャン
ありがとう
あなたの
名前は？
ダルタニャン
あなたは？
う　うん


ミレディーよ
それじゃ……
あーあ
今日のかせぎは
少かったのに
……
がっくりする
なよ　ジャン
オレがなんとか
してやるよ……
ありっ……
ンン……!?
どうしたの?
いや
バアちゃんから
もらったお金を
……たしか
ここに……



これでもガスコーニュじゃ貴族の家にいたっていうのに……
そう気を落とさないで　おいらも母ちゃんさがしてパリへきたんだけど……最初は苦労したもんさ　ちょっとぐらいならおいらがめんどう見てやるよ
やとって畑で働かせている人をいじめたりしてるんだろ？
ぼくの家はそんなこと絶対してないよ！
じゃなんでおいらの父ちゃんは死んだの!?
……なんかわけがありそうだな　話してみろよ　ジャン


話したくねぇ!!
そうか……悪かった……もう聞かないよ……
ん?


象だ……水浴びでもさせにきたのかなァ……




うわァ大きい……ジョルジュのところの牛よりずーっと大きいぞ……



ドス



第1話おわり

第2話



ロンドンからの手紙
17世紀前半――
今から約360年
ほど昔のこと
フランス王
ルイ13世は
今は美術館として
有名な パリの
ルーブル宮殿に
住んでいました
しかし
フランス第一の
実力者
総理大臣の
リシュリューは
その力を楯に
自分勝手な政治を
行い どちらが
国王かわからぬ
ありさまでした


リシュリュー わたしは国民の税金を上げるのは反対だ 勝手にそんなことを決めても布告書にサインはせぬぞ
ききわけのないことを……子どものように
わたしを子どもあつかいするのか！
子どもよりしまつが悪い
陛下がまだまだおちいさかった頃はもっと素直なよいお子だったのに


……
また　王妃様にけしかけられたのでございましょう?
わたくしのやることになにがなんでも反対するようにと……
ガターッ!
そんなことはない!


よろしいですか
陛下　国の金庫は　もう空っぽでございます
税金を上げなければ
王妃様の大好きな舞踏会も
当分おあずけですぞ
!!
ポチャ…
その頃　故郷ガスコーニュを飛び出し　パリへやってきたダルタニャンは
……


まだかい?
もうちょっとだ
今すぐ大物を
釣り上げて
うまい魚を
たっぷり食べ
させてやる
いいかげんに
あきらめた方が
いいと思う
けどな
田舎から出てきた
ホヤホヤのやつに
つかまるほど
パリの魚は
まぬけじゃないぜ
フン
かかったぞ
すごい
引きだ
でかいぞ
手をかせ
せーの
そーれ



せーの
それ
せーの
それっ
やった〜〜〜っ!!
ン!?
ゴン
イッヒヒヒヒ〜〜〜ン!


ク〜〜ッ！
なにがおかしい！
こら〜〜っ魚が全部逃げちゃうじゃないか!!
ロシナンテ……
チェッ どうしようもねえや……！
じゃまをするな


ハックショ〜〜〜ン！
ああっ…………
おまえ魚をとってくれたのか！すまないそうとも知らずにしかったりして！
こいつはすげえや……!!
ヒンヒンヒン！


せっかくとった魚を　自分じゃ食えないなんてかわいそうだなロシナンテ……
でも草を食べる方がいいよ　草ならどこにでもはえているから
でも……
なんだかおもしろくないよ……
ア〜〜〜ッ食った　食った
ところでおまえの母さんてどんな人だ？
どうして？


めしがすんだら仕事を捜しにいこうと思うんだ バアちゃんにもらった金も盗られちまったしな……
ついでにおまえの母さんも 捜してきてやるよ
そんなにかんたんに見つかるもんか
パリにはなん万て人間がいるんだ いつどこで出会うかわからない どんな人か知ってなきゃ気がつかないじゃないか
……とってもきれいな人さ……………
どんな顔だった?
えっ!?


王妃様
お召しでございますか?
コンスタンス 今夜 この手紙を シュブルーズ夫人に届けておくれ
このお手紙は……!?
バッキンガム公爵にあてたものです


!?
おしのびで イギリスから みえるから ぜひ わたしに 会いたいと
秘密の おたよりを くださったの これは その返事……
お会いに なられるの ですか?
お断りの 手紙です
いいえ わたくしは フランス国王の 后です 陛下に ないしょで 会うわけには まいりません
ギャオ ギャオ
いつから こんなオウム を……!?
リシュリュー からの 贈り物なの
王妃様 リシュリュー 宰相には お気をつけ あそばせ


わたくしと陛下は神のおん前で永遠の愛を誓い合った夫婦ですよ
王妃様と国王陛下が仲たがいされるのを今か今かと……
でも　陛下が王妃様とバッキンガム公との仲をお疑いあそばしたら
だからこそお断りの手紙を書いたのではありませんか


農民や商人たちの税金をあげることに　国王は反対されたそれもこれも王妃が国王を説き伏せているからだ
……
わしに反対する王妃さえいなくなればこのフランスはもっと強くなれるのだが……
それなら耳よりな話がございます
イギリスの総理大臣バッキンガム公はひそかにパリにおいでになるとか
きっとアンヌ王妃に会おうとするにちがいありません
それを利用して王妃の陛下に対する裏切りの証拠をおさえるのです


王妃がバッキンガム公にお出しになる返事をおさえるのです
ン!?
手紙の仲立ちをしているのはシュブルーズ夫人 王妃はきっとお気に入りのコンスタンスを使ってこっそり手紙をとどけさせるでしょう
そこで 少々手荒ではございますが……
ヒソヒソ
………
しかし そのようなことにわしの護衛隊は使えぬぞ
閣下にご迷惑が及ぶようなことはしません 役に立つ者を金でやといます
よかろう 必要なら この金を使うがよい


リシュリュー様がいるのはここか?
ハッ!! ああ……
どうも
待て 待て どこへいく
だから リシュリュー様に会いに
おまえは なに者だ
お目どおりの約束でもあるのか?
そんなものはない…… それ!


それじゃ
紹介状でも
ないない！
そんなものは
ない！
ア〜〜〜ッ
ア〜〜〜ッ
ジイちゃんがパリへいって
だれかのために働くとしても
リシュリュー宰相か　銃士隊長のトレビル殿のほかは相手にするなっていうんでね
なに〜〜〜っ！
それでまず偉い方の
リシュリュー宰相に
会いにきたんだ
じゃ……
待て！
だから
ことわっている
じゃないか
ダルタニャン
じゃないの！


あんたはミレディー
なにをしているの？
リシュリュー様に会いにきたのに通してくれないんだ
面会の約束も紹介状もないのに通すことができるか
まァ……フフフ……なかなかやるじゃない
いや それほどでも……ハハハ



そう……
それじゃあ
わたしの仕事を
手伝ってくれる？
断る！
田舎を出る時
ジイちゃんが
……
リシュリュー様か
トレビル隊長の
ほかは　相手に
するなって
いったのね
わたしの仕事を手伝って
くれたら　リシュリュー
様に取り立てていただく
よう　お願いして
あげるわ
あんたの
仕事って？
国王陛下に
謀叛を企む一味
を　捕まえるの


これには事情があって 表沙汰にはできないの やってくれる？
正しい仕事なんだろうな
ええ もちろん
その証拠にローシュフォール伯爵が 今回の指揮をとることになっているの
ローシュフォール伯爵？
リシュリュー様のふところ刀といわれている方よ


ダルタニャン
どこいっちゃったのかなア……
ファ〜〜ア
アア〜〜
ん!?


あれは　銃士隊の三銃士だ
見とがめられためんどうだかくれてろ


あれが三銃士か……


あれだ！
お・ん・な……!?
あれは女だぞ！
謀叛に男も女もなーい！
ジイちゃんに弱い者いじめだけはするなっていわれているんでね


なかなか立派なジイちゃんだ！
よし！おまえは見張りでもしていろ！
さっきの銃士隊がもどってくるかもしれん
？
そうしたらじゃまされぬようおっ払ってくれ
!?


キャアアーッ！


あっ……母ちゃん……


オイ！ やっぱり おかしいぞ どうして 銃士隊がきちゃ まずいんだ
母ちゃん 母ちゃーん！
ジャン ジャンじゃ ないか
ダルタニャン！ 母ちゃんを 助けて！ 母ちゃんが さらわれた
それじゃあ 今の女が…… ……よし
なにを ゴチャゴチャ いっとるんだ！
さっきの女に 用があるんだ


おまえの役目は
もう終わりだ
さっさと帰れ
さもないと
護衛隊に推せん
してやらんぞ！
えーっ！
早く
きみは
リシュリュー
閣下の護衛隊に
入りたいのだろう
推せん取り消しに
なってもよいのか
と　とんでもない
失礼しました
わかれば
それでよい
子どもは
すなおが一番
というわけだ
いやだ
いやだ
うるさい！
さっさと消えろ


はい！ はい！ では
見そこなったよ なんであんなやつのいいなりになるんだよ！
しーっ……… 今から追いかけたって間に合わない ロシュフォールをつけるんだ
あ！ そうか……


よし！
いこう
うん！



あそこか……………
どうやらうまくいったようだな
ええここまでは


……さあ 手紙をお出し!!
アンヌ王妃がバッキンガム公にあてた手紙だよ
そんなもの知りません
隠してもだめ
……………
すなおに出さないというならこっちにも覚悟があるからね
強情そうな娘じゃないか
フフフ……


オ〜〜くっ!! いやな趣味をしていやがる あの ニョロッとしたところが なんとも……
どうしたジャン?
おいらの売った人形が こんなところに……
これは…………!!


まさか……


たのむぞ
ロシナンテ!


ダルタニャン!
もう だいじょうぶ だ!
ありがとう ……………
やっぱり きみか……!
ちがった みたいだ ……
おのれ!


ジャン
この人のなわを
さあ
どこからでもかかってきな！
なまいきな！
もう
あとがないぞ


……………
うああ〜〜〜!!
ナハハハ……
こいつっ!



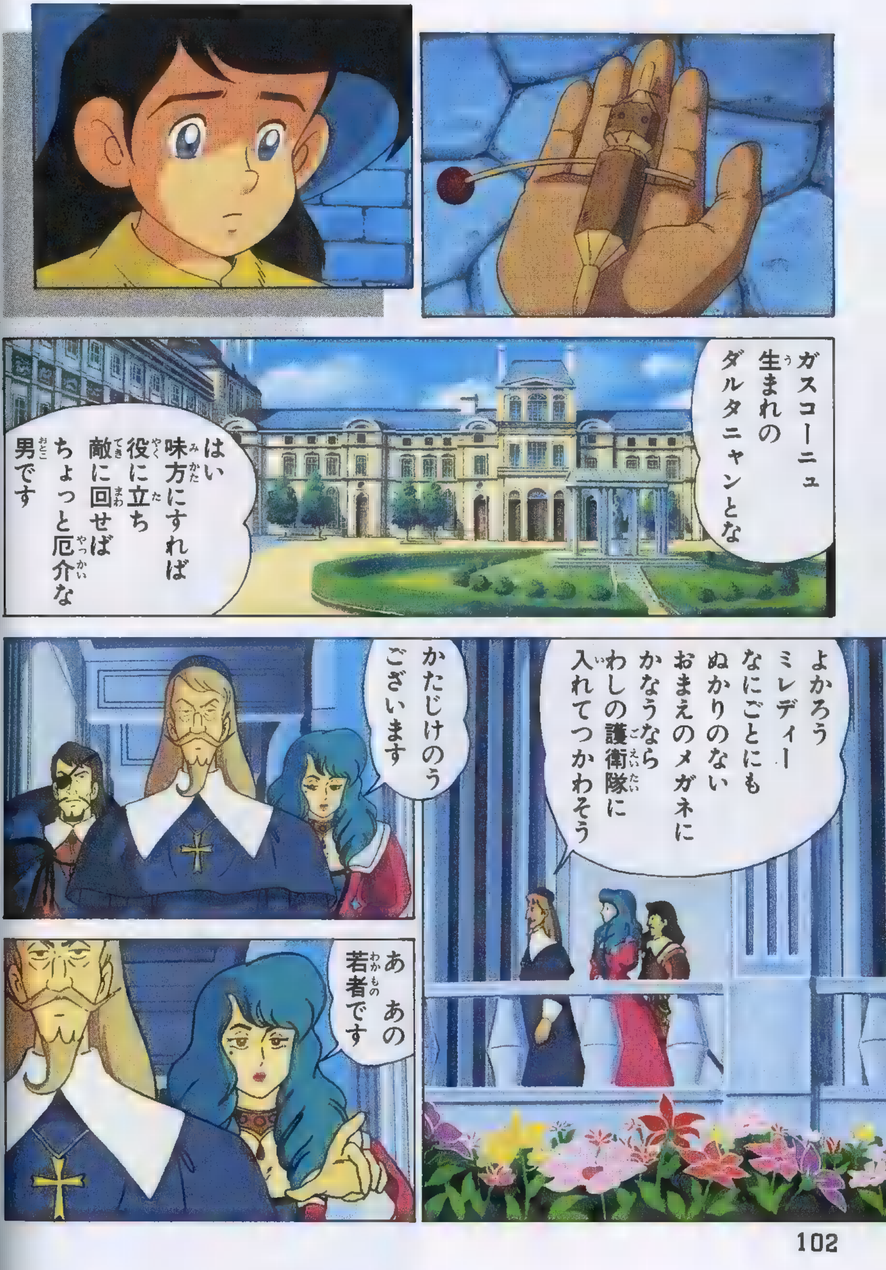

こっちだ ロシナンテ
待て!!
そう かんたんに 逃げられて たまるか!
ローシュ フォール
ン……!? ア〜〜〜ッ
ウアア〜〜〜ッ ギャ〜〜〜ッ ウォ〜〜〜ッ!!


今のうちだ
ギャ〜〜〜
ウア〜〜〜
こ〜わ〜い〜
あ〜〜〜逃げてく〜〜〜
ク〜〜〜〜ッ！
裏切るの？
そんな人聞きの悪い オレは人を裏切ったことは一度もないんだ
ただ どんな理由があっても か弱い女の子をかどわかしたり責め立てたりするのは許せないんだ
許せんのはこっちだ！
伯爵 もう遅いわ 今度の計画は失敗です


なんてこったあぁ〜〜〜!
そんなにがっかりしないで……オレがついているからオレがリシュリュー様の部下になったらいつでも力を貸してやるよ
どういう神経をして……
べつに……人よりちょっと太いかもしれないけど
おまえには神経ってものがないんだ
まあ まあ
フン!! いいかこぞう おまえは リシュリュー様に楯ついたのだぞ
護衛隊に入るのはあきらめろ
わたしがリシュリュー様にたのんであげたらわたしたちの同志になる?



なりますッ！
では明日ルーブル宮殿で……
ワーイやったぞ！
みんないくぞ!!
ミレディー……
わたしにまかせておいて使えるわよあのぼうや
アレ？あの娘は？
ダルタニャンにありがとうっていってたよ……


ガスコーニュ生まれのダルタニャンとな
はい 味方にすれば役に立ち敵に回せばちょっと厄介な男です
よかろう ミレディー なにごとにも ぬかりのない おまえのメガネに かなうなら わしの護衛隊に 入れてつかわそう
かたじけのう ございます
あ あの 若者です


ダルタニャン
リシュリュー閣下の前ですよ
ハッ!!


ダルタニャン とやら わしに 忠誠を誓うと 申すのだな
では わしの 護衛隊に入る ことを認めよう
はい
ははっ
だが その前に 中庭を 見るがよい


あそこにおられるのがアンヌ王妃だ
アンヌ王妃はことごとくわしの政策をじゃまするわがフランスの敵だわしに忠誠を誓う以上王妃はそちにも敵であることを忘れるな
あっ!!
あの王妃のそばにいるのは……
国王の銃士隊だやつらもわが護衛隊とは仲の悪いならず者だ
いえ　あの女性です


王妃の手先となって働いている侍女のコンスタンスだ
よいな 今いったことを胆にめいじておくのだぞ では 辞令を用意しておくからあとでわしの部屋へくるがよい
コンスタンス……
いいえ もうけっこうです
護衛隊に入るのはお断りします
なんだと!
たった今国王の銃士隊に入ることにしました
失礼します!


おのれ！なんなんだあいつは！
放っておけ護衛隊に入ってから寝返りをうたれるよりよいではないか
今に人生の選択をまちがえたことを思い知らせてやる
こうしてダルタニャンはどんなことをしても銃士隊に入る決心をしたのでした
コンスタンスーッ コンスタンスーッ

第2話　おわり

◆第3話

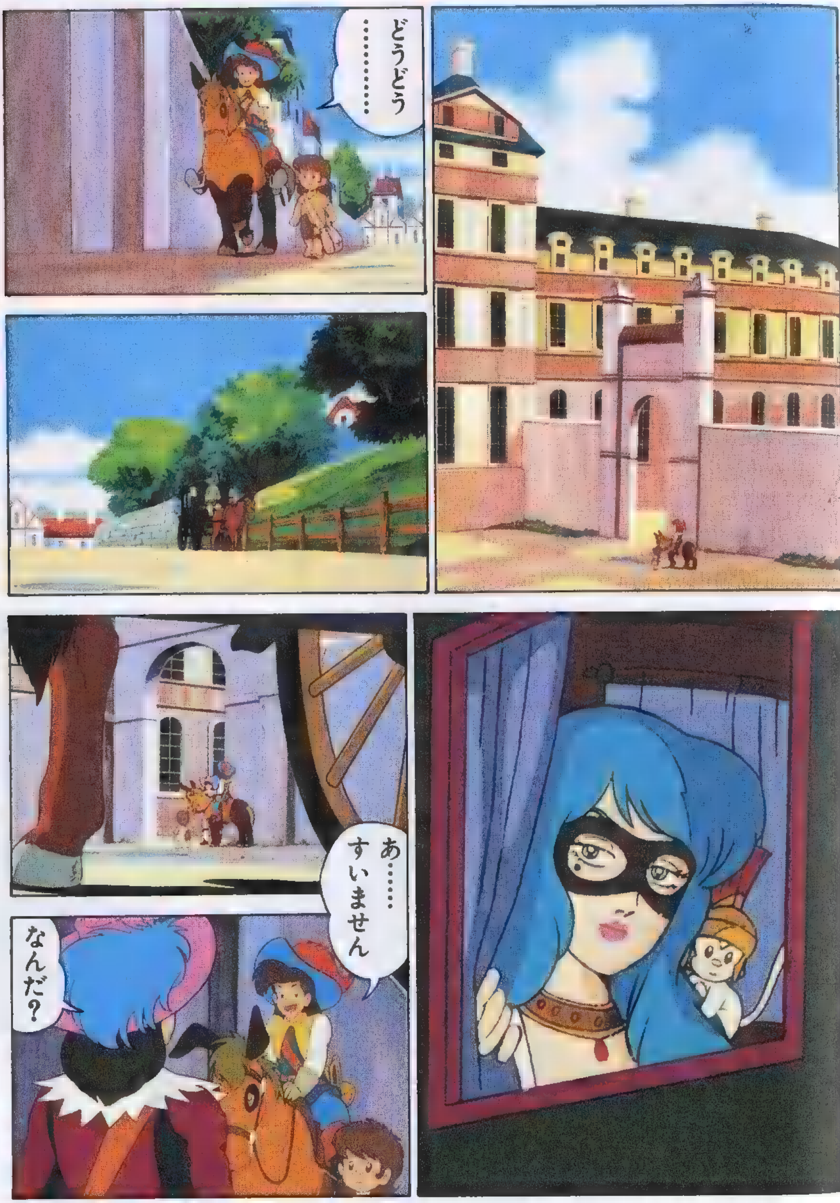



おめでとう ダルタニャン
やった〜〜〜!! やったぜ コンスタンス!!
こ こら ダルタニャン!! 国王陛下のご前だぞ!! いいかげんにしろ!


今日からオレは国王の銃士なんだ!! バンザーイ!!
ちょ ちょっとダルタニャンたら!
なんてやつだ!
ワッ!?
なんだなんだいったい!?


ジャン おまえか…… あーあ ビショビショだよ せっかくいい夢見てたのにい
いくら おこしても おきないからだよ
銃士隊のトレビル隊長に会いにいくから早くおこせといったのはそっちだろ?
しまった! 今なん時だ!?
もう 7時だよ
いかん!
ワッ!?
やれやれ……


王妃の衣装係
コンスタンスの
そばにいたいため
ダルタニャンは
銃士隊に入る決心
をしたのでした
そして今日は
銃士隊の隊長
トレビルに
ようやく
会える約束の日
だったのです


どうどう……………
あ……すいません
なんだ？


トレビル隊長のお宅はここですか?
あ……これは失礼……
ああ そうだが…… 人にものをいう時は 馬からおりたら どうなんだ?
むっ!?
ぶ 無礼な!! あやまらんのか!?


さっきちゃんとあやまったじゃない
ちゃんと水たまりはよけておりたよ
今おまえがわたしの顔に泥水をはねたのだ！
ほら見てよ
長靴に泥水なんかついてないでしょ？
なまいきな！へりくつをこねるな!!
なんだ！へりくつとはそっちこそ変ないいがかりをつけるな！
いいがかりだと？無礼な！許さんぞ!!


決闘かよし!
オホン……ぼうやあやまるなら今のうちだ
待った
そうかあやまるのか
いや
トレビル隊長に会った後だったらいくらでも相手になるよ
……決闘の場所は…… ええと


すいません
まだパリの地理に　くわしくないもんで……
決闘にいい場所ってないですか？
フ……変なこぞうだな
では　あそこに見える風車の丘はどうだ
ありがとう　では今日の午後3時に
よかろう　わたしは銃士のアトスだ　おまえの名は？
ダルタニャンだ　……逃げるなよ　アトス


フ……
それはこっちの
いうセリフだ
銃士隊の
けいこだ
もっと
腰を入れて!


そんなところに馬をつながないでくれ　栗のイガが落ちるじゃないか
あっ！
この馬はおとなしいから
あばれたりしませんよ


現に　こうやって落ちてきてるんだ
そりゃあおかしいよ　だってこの馬今つないだばっかりなんだもの
ブヒーン
人をバカにするのか!?　すなおにあやまったらどうなんだ!?
決闘かい？
こわいのか？


先約があるんでね 今日の午後3時 風車の丘でなら……
よし 逃げるなよ
それはこっちのセリフだよ
ジャン ここで馬の番をしててくれ
待て きみの名は!?
ダルタニャンだ
銃士隊のアラミスだ! よく覚えておけ!


そっちこそ忘れんなよ！
なまいきな！許せん！
ごめんくださーい！
ごめんくださーい！——あれ——？だれもいないのかなア……ごめんく……
——どちら様で？


隊長殿の故郷ガスコーニュから出てきたダルタニャンです
うけたまわっております
どうぞお入りください
へえ――……………


そこの階段を上がった部屋でお待ちください

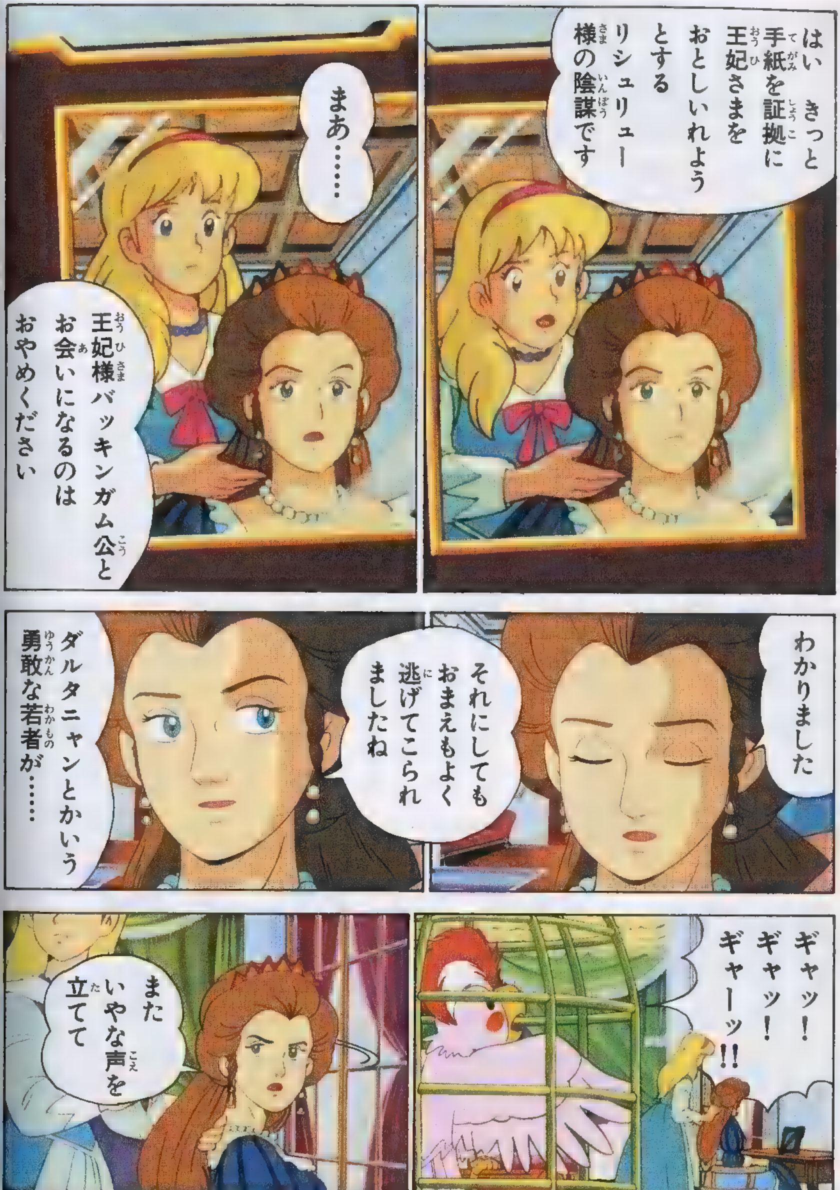

アチチ!!
こらっ! こぞう!! よくも 火のついたローソクを落としてくれたな!
いいがかりだよ!
おまえが乱暴に階段を上がるからだ
よーし! 午後3時に風車の丘だ
身におぼえのないことをツベコベいうなら 決闘で決着をつけよう


オレは ダルタニャン あんたは？
銃士のポルトスだ 決闘か よかろう
あやまればすむ ものを よほど 命がいらないと みえるな
フン！ 後悔するのは そっちさ
へ…


銃士隊に入りたいというのか？
はい！ きっと国王陛下のおんために役立ってごらんに入れます
どんなふうに？
もちろん剣です
きみの流儀は？
ガスコーニュ流です
だれに習った？
ジイちゃん いや……祖父です
なるほど……
しかし あいにく だが今のところ銃士は定員がいっぱいなのだ それなのに 銃士志願者は君以外にも大勢いるという始末でな


定員なら今日のうちに三人 あきができますよ ぼくが 三人の銃士と決闘することになっているから……
なんだって？
その三人に勝てば三つあきができるというわけで……負けたら当然ぼくの命はありません
で その相手は？
えーと……アトスと……アラミスと……あ ポルトスです
なに？ 決闘はどっちから申しこんだのだ？


申しこんだりこまれたりで……
オホン よかろう 明日になって まだ命があったら ここへきたまえ
ありがとうございます！
それじゃ コンスタンスおまえを誘かいした犯人は……わたしがバッキンガム公にあてた手紙を奪おうとしたのですね。


はい きっと 手紙を証拠に 王妃さまをおとしいれようとする リシュリュー様の陰謀です
まあ……
王妃様バッキンガム公とお会いになるのはおやめください
わかりました
それにしてもおまえもよく逃げてこられましたね
ダルタニャンとかいう勇敢な若者が……
ギャッ！ギャッ！ギャーッ!!
また いやな声を立てて


王妃様逃げ出してしまいましたわ
放っておきなさい外に飛び出してタカにでもさらわれてしまえばいい……
ギャーッギャーッ……
ギャーッギャーッ!!
きたか　コピー
どうだ？　王妃とコンスタンスはなにを話していた？


ギャッ ギャッ！
それじゃ
コンスタンス
おまえを誘かいした
犯人は わたしが
バッキンガム公に
あてた手紙を奪おう
としたのですね
はい きっと
手紙を証拠に
王妃様を
おとしいれようとする
リシュリュー様の陰謀です
もうよい
くわしいことは
また後で聞こう
ご苦労だった
さすがは
ミレディーの
かいならしたオウムだ
だが
コンスタンスを
誘かいしたのが
わしのたくらみだ
と わかって
しまったようだ
お役に立って
幸せに
ぞんじます
しかし 証拠は
ございません


とにかくコンスタンスに逃げられたのはまずかったな
あのダルタニャンさえじゃましなければ……
ダルタニャンへの仕返しは……
わたくしがちょっと細工して今日三人の銃士たちと決闘をするようにしむけておきました
三人の銃士とは？
アトスアラミス……
ポルトスの三人です
例の三銃士か？
いずれも銃士隊きっての剣の達人ではないか!?



さようでございます……
なるほど……
よし 決闘の後で残った連中を逮捕するのだ わたくしごととの決闘は 法令で禁止されているからな
ハハ！


あっ!
コンスタンスさーん!!
まあ あなたは……
ダルタニャンが……殺されちゃうんだ!
助けて! コンスタンスさん!
ええっ!?


馬もいないわ
あのもし……
やあコンスタンス
あそこに馬をとめていたダルタニャンという方はもうお帰りになりましたか？


ダルタニャン?
ああ　あの
なまいきなこぞう
か　今頃はどこか
で恐ろしくて
ふるえてるん
じゃないかな
なんか
あったのかい!
あいつ
身のほども
知らずに　この
ポルトス様に
決闘を申しこん
だのだ
それじゃ
ダルタニャンは
この
ポルトス様と?
ちがうよ
全然別な
二人だよ
それじゃ
二人じゃなくて
三人と決闘するわけ?
ますます
見こみないや


ポルトス様 その決闘はやめるわけにはいかないのですか？
そりゃだめだ
こっちからのぞんだ決闘ではないからな いったん決闘をうけておきながら逃げたとあっては銃士としての名誉にかかわるからな
その決闘をやめさせろというのか？
はい トレビル様のお力によりまして……
それは無理だ
たとえ 銃士がわしの部下であってもみんなそれぞれに誇り高い者たちなのだ貴族の名誉をかけて戦う決闘を本人に頼まれもしないのに仲裁するわけにはいかん


わたくしごとの決闘は　法令によって禁止されているはずでしょう？
あんなものリシュリューがわれわれの風習にケチをつけるために　勝手に作った法令だ
それに　決闘の現場でもおさえぬかぎり　処罰することはできん
いいか　決闘は現行犯だからな　剣をぬくまでやつらに気づかれるな
キッ！キッ！


む!!
きたぞ!!
しかし
よりによって
オレたち三人に
挑戦するとは
無鉄砲なやつだ
まったくだ
ところで立ち会い人は
どうした?
捜したのだが
適当な人物が
おらんのだ
リシュリューの
決闘禁止令が
出てからは
立ち会い人も
同罪だからな


そうか
そうなると
あのぼうやが
こわくなって
逃げ出してくれる
のが　一番よい
というわけか……
おーい!!
きてしまった
ようだな……
待たせたな!
ぼうず
命はおしく
ないのか?
そっちこそ
覚悟はできてる
のかい?


なに?
待って! その前に まず順番を決めてもらおうか
決闘の順番だよ それとも三人いっしょにかかってくるかい?
な……!?
わたしからだ 最初に決闘を申しこんだのはわたしだからな
その理屈でいくなら おれは最後じゃないか そうしたら このなまいきなこぞうを ぶったぎることができなくなる
アトスやアラミスの二人と勝負して 生き残っているとは 思えないからな
それは 二番目でも同じさ ここはひとつくじ引きで決めようじゃないか
えーい 早く剣をぬかんか!


さあ
一番長いのを
引いた者が
一番手だ
引いてくれ
よし
ポルトスからだ
決まったか？
よし
剣をぬけ！
殺すな
わかってるさ


どうやら始まりそうね
待ってー!!
コンスタンス!? ジャン!
チッ


ダルタニャン ばかなことは やめて! 銃士のみなさん も手を引いて ください
とめないでくれ
いいえ! 決[redacted]なんて 許しません!
たとえ 勝ったとしても 銃士を殺した人が 銃士になれるわけ がないでしょう!?
銃士のみなさん お願いです……


この方はリシュリュー宰相の手下に誘かいされたわたしを助けてくれた恩人なのですどうか見逃してあげてください！
コンスタンス殿がそういわれるのなら
ただし 相手の方からやめたいといってくれないと……
ダルタニャンいいわね
うーん………
まずいな


剣をぬかせるだけならかんたんよ
キャッ!!


ドサッ
一同神妙にしろ!!
ローシュフォール!?
決闘の現行犯で逮捕する!武器を捨てろ!
決闘だと?まだなにもしていないぞ
一人でも剣をぬいた以上決闘とみなす
いいがかりだ!


この者たちを逮捕しろ!!
くそ 逮捕できるものならしてみろ!
おれも助太刀するぜ
待てー!!
ザッ ザッ
この場はわしにあずからせてもらおう


いくら トレビル銃士隊長殿のお言葉でも 禁令を犯した者を見逃しにはできませぬ
どうしても わしの部下を逮捕するというのか?
リシュリュー閣下の禁令にそむいた者を逮捕するのは近衛隊の役目です
ならば わしも 王妃さまの侍女コンスタンス殿を誘かいしようとした罪で おぬしを逮捕するぞ
なんですと?
誘かいに加わったならず者を捕まえたところ おぬしに金でやとわれたと白状したぞ
そんなばかな! トレビル殿は ならず者の でたらめな証言と わたしのいいぶんと どちらを信用なさるのですか?



それは時と場合による……あまりわからないことをいうようだとローシュフォール殿よりならず者のいうことを信じたくなるかもしれん
どうしたローシュフォール殿コンスタンス殿がおぬしになにかいいたいようだが？
チッ！
わかりました
いくぞ！


隊長おそれいります
ハハハ……しょくんあんまり世話をやかせるな
ところでダルタニャン
はい!
きみはまだ銃士隊に入りたいのかね?
はいっ!
だったら剣を見せてもらおうか
どうぞ
ふむ……なかなかのわざものだな
故郷のガスコーニュを出る時祖父が家に代々伝わる名剣だとゆずってくれたものです


なるほど……ポルトス
その剣を折れ
えっ？
折れといったら折れ！
は はい
な なんということを……
ダルタニヤン きみを銃士隊に入れることはできぬ


この折れた剣を持ってガスコーニュへさっさと帰れ
な……なぜです!?
剣の技だけをじまんにする君のような人物は銃士隊には いらぬ銃士隊に入るには剣よりも心だ
このトレビルにそういわれたと
帰ってジイさんに伝えるがよい


ダルタニャン
あ
さっきは気の毒をしたな
悪く思わんでくれ　きみの剣を折ったのは隊長の命令でな
わかっています……ところで　なんの用ですか!?



きみが　コンスタンスのために働いてくれたことは感謝するよ　銃士隊に入れないのは残念だが　われわれの友だちにはなれる
個人のつき合いにまで隊長は　口を出さないからな
どうだ　おれたちの友だちとしてつき合うつもりはないか？
そのうち機会があったらわれわれからも隊長にすいせんしよう
あ　ありがとうございます！
それではここで友としての誓いをたてよう

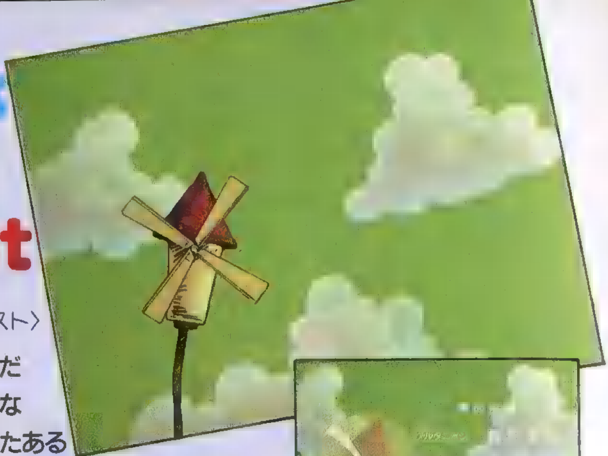

あ……
待った
さあ
ガシッ!
みんなは一人のために一人はみんなのために……

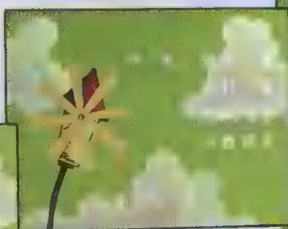
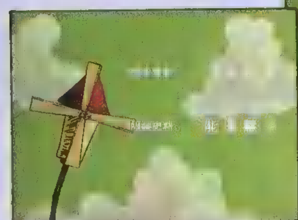

ありがとう
みんな……
銃士には
なれません
でしたが
そのかわり
ダルタニャンは
パリの三銃士を
友だちに
することが
できたのです
アニメディア
アニメコミックス
『アニメ三銃士』
●第1巻　おわり●
第2巻につづく!!

Ending Film Digest

〈エンディング・フィルムダイジェスト〉

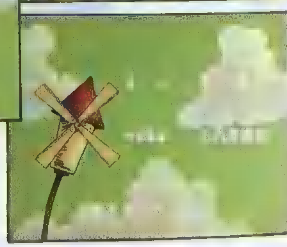
◆空にポッカリと浮かんだ雲。吹きわたるさわやかな風が、ある時は速く、またある時はゆっくりと、風車を回していきます。



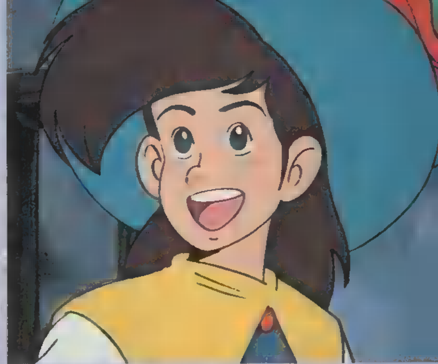







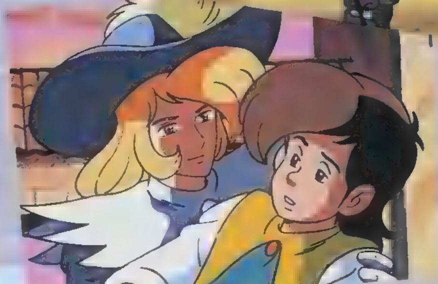



銃士志願のダルタニャン！ リシュリューの悪計から、国王たちを守りきれるか!?



●あやうく決闘をのがれたダルタニャンは、三銃士と友としての誓いを結んだ。一方、リシュリューは、悪計を企むが!?　緊張の連続の第2巻をお楽しみに!!







あなたは、このアニメディア・アニメコミックス「アニメ三銃士①」をごらんになって、どんな感想をお持ちになりましたか。

編集部では、この本についてのあなたのご意見をおまちしています。

テレビや映画のアニメーションで、あなたがいちばん好きな作品、アニメディアから出して欲しい本などの希望もあわせて、左記あてにお知らせください。あなたの学年・年齢も書いてください。

東京都大田区上池台4－40－5
（郵便番号145）
学研　アニメディア編集部
アニメコミックス係

企画●忍足恵一・木野整一
制作●メモリーバンク

アニメディア・アニメコミックス
アニメ三銃士① 学習研究社

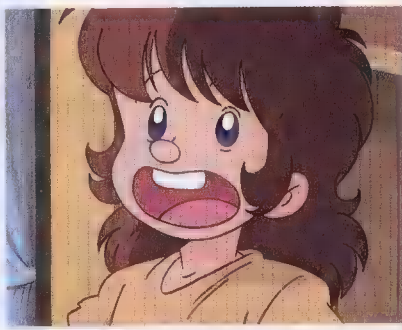
昭和62年12月1日初刷発行
昭和63年2月1日第2刷発行
発行人／児山敬一
編集人／倉田幸雄
発行所／株式会社　学習研究社
〒145 東京都大田区上池台4－40－5
☎案内番号03-726-8111
編集部直通03-797-6061
振替口座　東京8-142930
印刷所／図書印刷　株式会社

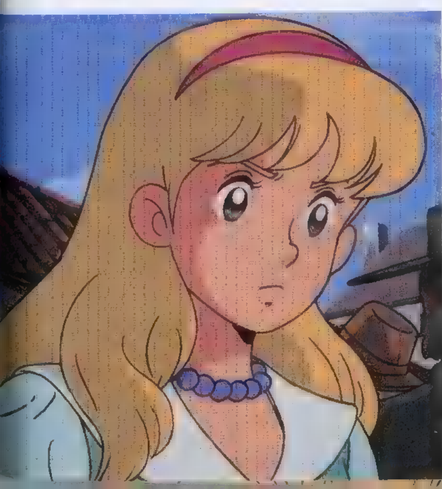
定価680円

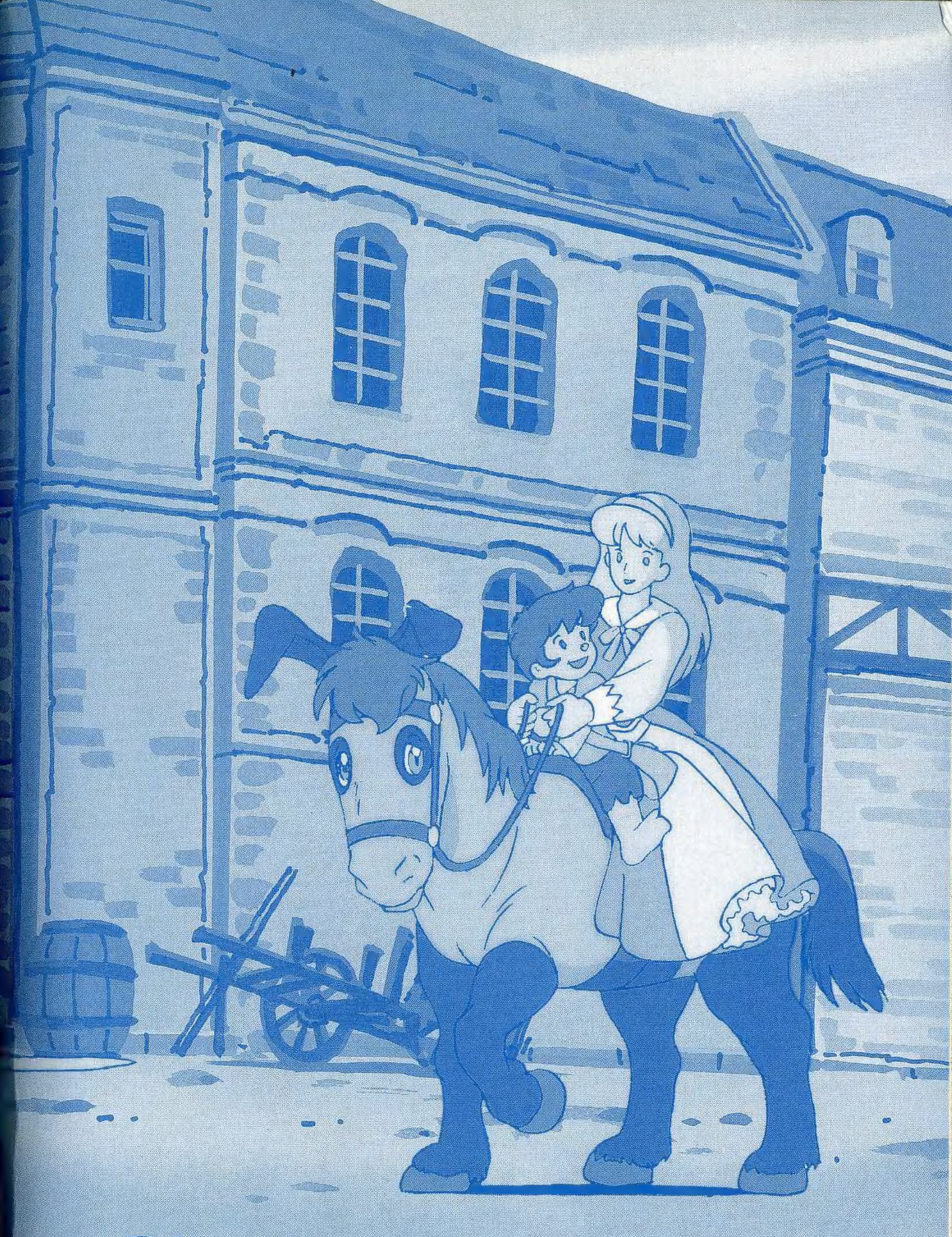
この本に関するすべてのお問い合わせは、下記にお願いいたします。
文書は――〒145 東京都大田区上池台4－40－5
学研　お客様相談センター
「アニメディア・アニメ・コミックス」係
電話は――東京03-726-8124

1-43903
ISBN4-05-102731-7 C8079 ¥680E









1-43903

ISBN4-05-102731-7 C8079 ¥680E

定価680円



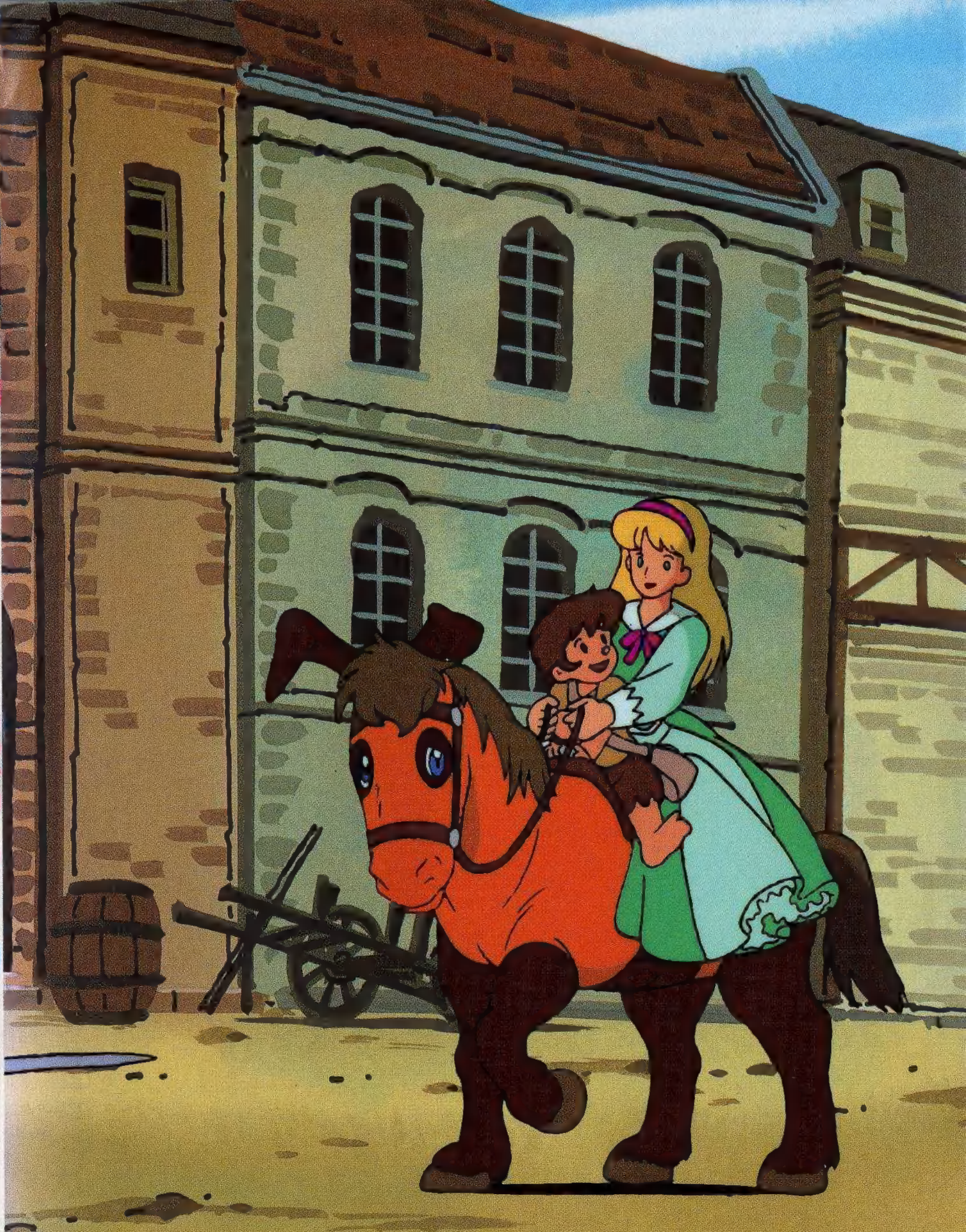
アニメディア
アニメコミックス



オールカラー

アニメ三銃士 1

学研



1-43903

ISBN4-05-102731-7 C8079 ¥680E

定価680円